

本稿は、5月20～21日に行われた「自治労連第63回中央委員会」での中央委員発言について、加筆・修正したものです。

## 非正規職員が希望を持って働ける任用条件を 誇りと怒りの“3T”アクション

兵庫自治労連

会計年度任用職員制度に移行して早くも3年目に入りました。

その呼び名が表すとおり、基本が1年限りの任用です。毎年年末には「4月からこのまま働けるかな」「4月からの仕事を探さないと」等いろいろな思いで、会計年度任用職員は年始を祝う気分なんてありません。今や全国の自治体で働く非正規の8割が女性であるとのデータが出ています。年収は200万円あるかないか、毎月の手取りが14万円では家計を支えることはできません。ダブルワークをしている人もたくさんいますが、時間や体力的にそれもできない人の方が多い状況です。その中にはシングルマザーも少なくありません。もちろんシングルファーザーもいるでしょう。「苦しかったらお給料のいい民間企業で働けばいい」と言われるかもしれませんが、そうではありません。みんなその仕事が好きなんです。そして誇りを持っているからこそ働き続けているんです。行政はそんな非正規の人たちに甘えている、まさに「やりがい詐取」です。

人として生まれてきた以上、皆平等であってほしいのですが、公務の仕事の中でさえも正規と非正規の格差が漫然と存在しています。なぜ同じ内容の仕事をしているのに給料に

差があるのでしょうか。なぜ待遇が違うのでしょうか。このことを合理的に答えられる人はどこにもいないでしょうね。

### ZOOM意見交換会でビビッと！

私はこの3月で、嘱託として17年、会計年度任用職員として2年の合計19年間働いてきた支援学校の介助員を退職しました。それまでの7年間は単組で委員長をしていました。私と友人の2人で「なんでこんなにも格差があるのか。なんで非正規というだけでパワハラに涙するのか。せめて好きな仕事で働き続けたい」という思いから立ち上げた組合です。それまで職場の中では、正規職員に物申す「怖い人」だったのですが、困ったり悩んだりしている同僚に声をかけるうちに、1人2人と仲間が増えて、一時は過半数の組織になりました。これまで組合で要求したことはほとんどが実現し、少しずつ働きやすい環境になりました。でも、介助員という仕事は重労働で、こんな私も還暦を3年も過ぎると「体力・気力の限界。引退します」でした。

4月からは兵庫自治労連で専従の書記長をしています。体力的には楽になりましたが、脳みそはぐるぐる回って頭の中が味噌汁状態です。

さて、3月に入ってから「会計年度任用職員の3年の壁について意見を聞かせてほしい」と打診があり「何をいまさら。遅いよなー」と思いながらも、自身が単組のことを中途半端で放り出したので、今この立場で役に立つことがあればと思い、ZOOMの意見交換会を覗きました。そうしたら「おもしろい！私が前からしようとしていたことやん」と、ビビッと来たんです！そこからは本部の賃金権利局の方々に乗せられるままにいろいろな地方組織の仲間とつながって運動をすすめようとがんばっています。

#### キャッチコピー、イラスト完成で始動

このアクションの「つながる・つづける・たちあがる」には、それぞれの言葉にいろいろな思いがこもっています。ある日、自転車で買い物に行く途中、「自分が『キャッチーなコピーで組合員の心に刺さらないと運動は広まらない』と言ったからには、何か考えないとなー」と思っていたら「これ1人や2人ががんばるだけではできないよな。非正規の仲間が手をつなげてやらないと」「この運動をやるからには単発で、1回きりで終わらせたらあかんよな。要求実現するまで、ずっと続けないと」「この仕事をずっと続けるためにも『がんばろう』と、会計年度任用職員のみなが立ちあがらないと！誰かがやってくれるではあかん！」と、天から降ってきたのです。そこからは言葉のパズルでした。いろいろな組み合わせにしながらできたのが「つながる・つづける・たちあがる」です。そして、兵庫の関連協でつながる仲間たちに声をかけ、「働く仲間が肩を組んで輪になってつながっている」イメージイラストができました。この絵を描いてくれた給食調理員の人にイメージを伝え

ると「こんな感じかなー」と、なんと2日で仕上げてくださいました。本当に感謝です！

今回、この運動の展開を通して、全国の方々と気持ちがつながった気がしています。

本部役員の方々も立ち上がってくれました。回を重ねた説明会等では「正規もがんばらなあかん」と、正規・非正規がつながりを強くしようと立ち上がってくれています。

あとは、自治労連に集うみんなで、この運動で制度を変えることができるまで、全国の非正規職員が希望を持って働き続けられる任用条件になるまで続けていきます。

全国のみなさん、ともにがんばりましょう！